

「続・そうだ、車をなおそう」 古い車の話 3

第 4 班
こたろう
月報委員

昨年10月号の月報に、35年前に買い12年間ナンバーを抹消してあった車を復活することにした記事のをせて頂きました。

たくさんの方から続編を早く、と言われましたので続きを書くことにします。

この車はユーノスロードスター1990年式のマツダの2人乗りのオープンカーで、当時の新車価格は230万ぐらいだと記憶しています。私が乗り息子達が免許を取ると乗るようになり、いつのまにかどんどん改造されガタガタになっていました。そのうちだれも乗らなくなりナンバーを外し車庫のすみで12年が過ぎていました。

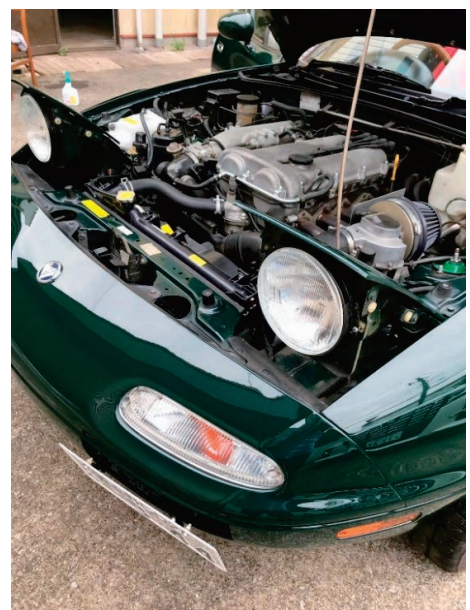
最初に自分でバッテリー交換をしたところ、エンジンがかかったので車検を取れば乗れるものと安易に考えていました。マツダの販売店に持ち込み、見える部分は綺麗にしたいのでベタベタのハエ取り紙状態になっていたダッシュボードなどを新品に、エンジン、ギヤ、デフ、ブレーキのオイル類は全て交換を頼みました。それ以外は整備の方に「とにかく安心して走れる状態にしてほしい」と言って置いて来ました。

後日見積書が届き、ブレーキディスク、プラグ、ラジエターを含む冷却装置一式、ショックはオイル漏れで交換、その他もろもろ書いてありました。

35年前の車の部品がメーカーにまだあることにビックリしましたが、金額を見てまたまたビックリ、予想をはるかに超える金額でした。「高けーな」と思いましたが色々思い入れがある車なのでお願いすることにしました。3週間ほどで車検整備を終え新しいナンバーが付き仕上がってきました。

ようやく公道を走れるようになり、葛西のシミズオートに持ち込み外装の色あせや細かいキズなどの修理と純正ホイールの再塗装をお願いし、とりあえずノーマルに戻すことにしました。

これもまた3週間ほどかかりましたが、ボロボロだった外観は見違えるほどピカピカになり満足度100点。細かい部分は黒のスプレーで塗り、ハイターで磨くなど自分でやりました。プラモデルを作るみたいなもので益々愛着がわいてきました。ここ



まで綺麗になると次は別の部分もと、どんどんエスカレートしてしまうものです。

バケットシートを付けていたのですが、皮がボロボロにすり切れていた表面を張り替えてもらい純正品のシートに戻すことにしました。これも3週間かかりましたがフカフカで満足度120点です。

再塗装した純正ホイールを深川の前田タイヤに持込み一般的なタイヤを付けてもらいこれで外観は当時のノーマルに戻り完全復活。

なかなかの仕上がりに気分も最高、早速高速道路へ試乗に行ったのですが、

「あれ？怖えーなこの車、ダメじゃん」

高速で車線変更するとフラフラして怖いのです。小さい車でホイールベースが短いため直進安定性が悪いのです。当時はタイヤ、ホイールも太く車巾ギリギリまで外側に出していたので全く気になりませんでした。がノーマルだとこんなものなのか。これは安全性を考えて当時のものにするしかない。

当時のホイール3本は持っていたので1本だけ鶴見のレーシングサービスワタナベに特注で作ってもらうことにしました。納期はかなりかかり5か月。ようやく4本揃い色合わせのため再塗装し、今度はハイグリップタイヤのポテンザを注文しました。これにより高速走行も安定感が増しハンドルもクイックで別物の車になりました。さすがポテンザ、これも大満足、直し始めてからすでに8か月が経過していました。

夏になりエアコンが冷えないのでクーラーガスを入れにマツダに行ったところ、「1992年頃から地球のオゾン層を破壊するのでガスの種類が変わり今の物は古い車には使えません。当時の物も旧車専門店には有るかもしれないがディーラーでは扱えません」と説明されました。「この暑い日本でクーラー無い車に乗れるか、それならそうと直す前に言えよ」と言いかけましたが堪え「地球のことを考えたらクーラーなんか要らないね」と言って店を出ました。

その帰り道、あまりの暑さに耐えられずシミズオートに駆け込み社長に「古いクーラーガス探してくれ」と頼みました。私は地球より涼しい風を選んでしまったのです。

古いガスが見つかり入れてみたところ別の部分から漏れ失



敗、こうなったら新しいクーラー一式を改造して付けてくれと頼みました。「やってみるが出来る保証はないが費用は発生するよ」と言われましたがダメもとでお願いすることにしました。

夏も終わりかけた頃クーラーが付いた連絡をもらい大喜びで引取りに行きました。涼しい、素晴らしい。これで普通に乘れて地球にも優しい車になりましたが、ここまでで掛かった費用は35年前の新車購入価格と同じくらいになっていました。

「やっと完成か、長かった」車をじっくり見ていると、ボデーとタイヤのすき間が空きすぎていてカッコ悪いことが気になり、車検が通るギリギリまで車高を下げることにしました。3センチ下げただけですが完璧です。

実に直し始めて10か月以上、ようやく思い通りの形になりました。

ある日の朝、仕上がったユーノスを気分よく乗っていた時のことです。松屋の駐車場でカギを付けたままロックしてしまいました。財布以外は全て車の中、色々考え後ろの窓がビニールなのでそこを切り、中に手を入れチャックに届けば後ろの窓は開けられる。やるならまだ薄暗い今しかない、明るくなれば車泥棒と間違われ警察に通報されかねない。早くやらなければ、究極の選択でした。コンビニでカッターを買い、ビニールを切りイモムシが這うように中にもぐりこみました。長い時間かけてせっかく仕上げたのに、、、何をやってるんだか、これでは「車を壊そう」になってしまったではありませんか。

新しい幌はメーカーでは生産しておらず自分で直すしかありません。ホームセンターで厚1ミリのビニールを買い窓の形に切り、見えない部分で幌にボルトで固定しました。外から見る限りわからなくなりましたが、水が中にしみてきて雨の日はダメです。

最後にゴムの部分は劣化するので、足回りのブッシュとエンジンマウントを新品に交換したところ乗り心地が見違えるほど良くなりました。

120馬力しかないユーノスですが今まで乗ってきたどの車より運転が楽しく気持ちがいいのです。しばらくするとまた乗りたくなるから不思議です。35年がたち新たにこの車の魅力がわかったような気がしています。

最後に総合的な満足度は70点くらいでしょうか。

